

# 平成 28 年度全国学力・学習状況調査結果について

彦根市教育委員会  
平成28年9月

## ひこねっこの「学習状況」について

平成28年4月19日（火）に、全国の小学校6年生および中学校3年生を対象に、全国学力・学習状況調査が実施されました。この調査では、児童生徒の学習状況把握のための「教科に関する調査」と学習意欲や学校生活、生活習慣などを把握する「質問紙調査」がおこなわれました。

今回の調査を分析して、この調査から見てきた本市児童生徒の学力と学習状況に関する結果をお知らせします。

### 彦根市の教科に関する調査結果

○平均正答数(平均正答率)

※調査の結果は、学力の特定の一部です。

教科等	国 語		算 数・数 学		
	A「知識」	B「活用」	A「知識」	B「活用」	
小 学 校	全 国	10.9問/15問 (72.9%)	5.8問/10問 (57.8%)	12.4問/16問 (77.6%)	6.1問/13問 (47.2%)
	滋賀県	10.9問/15問 (72.6%)	5.6問/10問 (56.5%)	12.1問/16問 (75.8%)	6.0問/13問 (45.8%)
	彦根市	10.8問/15問 (72.2%)	5.9問/10問 (58.8%)	12.3問/16問 (76.8%)	6.3問/13問 (48.3%)
中 学 校	全 国	25.0問/33問 (75.6%)	6.0問/9問 (66.5%)	22.4問/36問 (62.2%)	6.6問/15問 (44.1%)
	滋賀県	24.4問/33問 (74.0%)	5.7問/9問 (63.3%)	22.1問/36問 (61.3%)	6.3問/15問 (42.3%)
	彦根市	23.8問/33問 (72.1%)	5.7問/9問 (62.8%)	22.5問/36問 (62.5%)	6.6問/15問 (44.2%)

### 国 語

平均正答率は、小学校ではB問題が全国平均を上回り、昨年度より改善が見られました。しかしながら、小学校A問題、中学校A問題・B問題で、全国平均を下回りました。

小学校では、話の展開を踏まえて、質問の意図を捉えたり、目的に応じて必要な情報を取り出し、関連付けて読んだりすることができました。しかしながら、中学校では、文章の中心的部分を読み取り、全体の要旨を捉えたり、根拠を明確にして自分の考えを書いたりすることに課題がありました。

### 算数・数学

平均正答率は、小学校、中学校全てで滋賀県平均正答率を上回り、小学校B問題、中学校A問題・B問題においては、全国平均を上回りました。特に小学校、中学校ともに、B問題では昨年度より改善が見られました。

小学校では、三角形や直方体などの辺や面の位置関係、全体に対する部分の大きさを表す割合の理解の定着が見られました。中学校では、「図形」「関数」領域で、垂線の作図や三角形の合同条件の理解、比例、反比例、一次関数の特徴を捉えることができました。

# 「ひこねっこ」の各教科の全体的な傾向

# 小学校「国語」

## よくできていた点

○話の展開を踏まえ、インタビューメモの内容と実際のインタビューを関連付けて、質問の意図を捉えることができている。

### (問)

☆メモ・外国産の食料品は売れているのか。  
 (予想)「外国産はねだんが安いから、売れている。」  
 ☆インタビュー  
 「お客さんは安いというだけで選んでいるのではないということですね。では、お客さんは他にどのような理由で食料品を選んでいると思われますか。」

○目的に応じて、複数の本や文章などを関連付け、選んだ理由について捉えることができている。

### (問)

谷口さんは、【資料1】を選んだあと、もっとくわしく知りたいことがあったので別の本を探し、【資料2】を選びました。谷口さんは、どのようなことを知りたいと考えて【資料2】を選びましたか。

【資料1】職業について書かれた本の「パン職人」のページ

### 焼き立てのおおりに包まれた パン職人の仕事

《パン屋さんの一日》	
5:00	パンの生地を確認 パンの形作り、焼き
7:00	開店
11:30	パンの形作り、焼き
14:00	翌日の天気の確認
17:00	翌日の生地作り 片付け
19:00	翌日の準備 閉店

朝5時からパン作り開始  
 7時の開店のために、朝5時からパン作りが始まり、朝7時に準備した生地を焼き上げる。何種類もパンを作るため、朝から大忙しです。パン職人は、これを毎日行います。

気になる天気  
 パンの仕上がりは天気や湿度によって変わります。湿度が高すぎると生地がべちゃべちになり、生地が乾燥しすぎると硬くなります。

乳や油脂を調節  
 乳や油脂の配合や量を調節して、パンの食感を調整します。

### パン職人の声

パン職人になるきっかけを教えてください。

子供のころから、お父さん、お母さん、おじいさん、おばあさんがパンを食べていました。そして、小学校高学年のころから、そんな大好きなパンを、自分で作りたいと思うようになりました。

どのようにして、パン職人になったのですか。

中学校、高等学校を卒業した後、専門学校に入りました。専門学校では、パンの材料や道具の扱い方を学びました。専門学校の先生は、とても優しく、丁寧な指導をしてくれました。パン作りは、とても楽しいです。お父さん、お母さん、おじいさん、おばあさんにパンを焼いてあげたいという思いが、自分の中で燃え上がっていました。いよいよ、お父さん、お母さん、おじいさん、おばあさんにパンを焼いてあげたいという思いが、自分の中で燃え上がっていました。いよいよ、お父さん、お母さん、おじいさん、おばあさんにパンを焼いてあげたいという思いが、自分の中で燃え上がっていました。

この仕事の大変なところ、苦労は何ですか。

パンは、朝早くから焼くので、朝早くから起きる必要があります。また、パンを焼くには、熱いオーブンを使うので、熱に慣れる必要があります。さらに、パンを焼くには、長時間の作業が必要です。でも、パンを焼くのは、とても楽しいです。お客さんにパンを食べてもらうのは、とても嬉しく思います。

お客さんの反応はどうか。

お客さんは、パンを焼くのをとても楽しみにしています。また、パンを焼くのは、とても楽しいです。お客さんにパンを食べてもらうのは、とても嬉しく思います。

地産地消についてどのように考えているか。

地産地消は、とても大切なことです。地産地消は、地域を活性化させるのに役立ちます。また、地産地消は、環境にも優しいです。地産地消は、とても大切なことです。地産地消は、地域を活性化させるのに役立ちます。また、地産地消は、環境にも優しいです。

## 特に課題のみられる点

●正しく漢字を書いたり、読んだりする力をつけましょう。

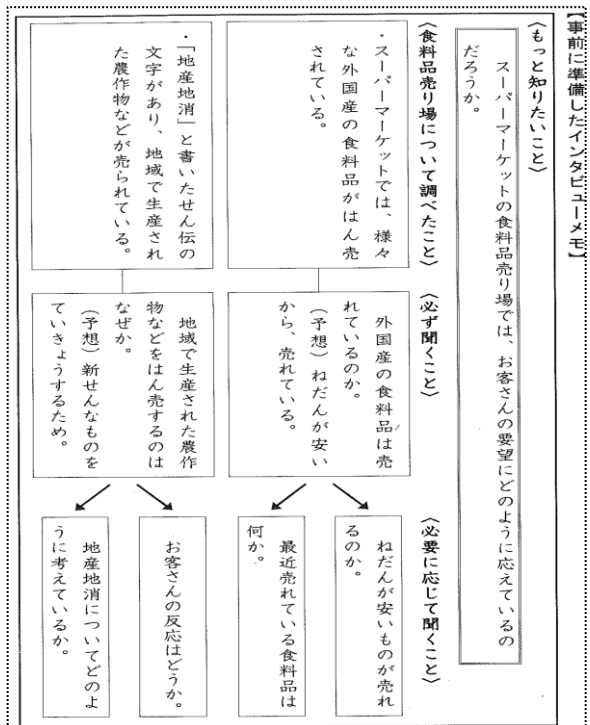
### (問)

- ・全国的に快晴だ。 → かいせい
- ・お年玉を貯金する。 → ちょきん
- ・したい友人と出かける → 親
- ・先生にそうだんする → 相談
- ・アサガオのたねをまく → 種

●情報収集のために、インタビューなどをするときには、メモを工夫して作成し、話す内容を整理するようにしましょう。

### (こんなインタビューメモを工夫してみよう)

- ・調べたことの情報を増やすための質問を考えよう。
- ・あらかじめ質問に対する答えを予想して、相手の答えに応じた質問を考えよう。
- ・あらかじめ複数の質問を用意し、話の展開に応じて質問を選べるように考えよう。



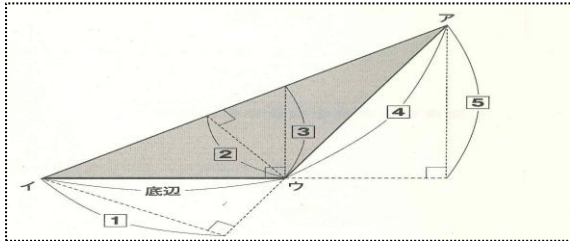
# 小学校「算数」

## よくできていた点

○三角形の面積を求めるとき、底辺に対する高さが、頂点から底辺に垂直に下ろした直線の長さであることが理解できています。

(問)

三角形アイウの面積の求め方を考えます。辺イウを底辺とすると、三角形アイウの高さはどこの長さになりますか。



○示された情報や数値をもとに、計算の順序についてのきまりに従って正確に答えを求めたり、数値の意味を理解したりできています。

(問)

【求める式】

40m 走のタイム+0.4 (秒) ×ハードルの数=目標のタイム

- ・40m 走のタイムが8.1秒でした。ハードルの数が4台のとき、目標のタイムは何秒になりますか。
- ・式の中の0.4や0.3は、どのような時間を表している数だと考えますか。言葉や数を使って書きましょう。



先生

目標のタイムを達成することができたなら、40mハードル走の目標のタイムを求める式を作り直しましょう。  
40m走のタイムやハードルの数は変えずに、式の中の0.4を、例えば0.3に変えるとよいと思います。

もとの式

40m走のタイム + 0.4 (秒) × ハードルの数 = 目標のタイム

作り直した式

40m走のタイム + 0.3 (秒) × ハードルの数 = 目標のタイム



まなみ

0.4のところを0.3に変えるんですね。  
式の中の0.4や0.3は、どのような時間を表しているのかな。

## 特に課題のみられる点

●繰り下がりのある減法、小数の除法など、整数、小数、分数の四則計算が確実にできるようにしましょう。

(問)

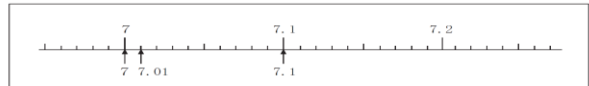
- ・  $2.1 \div 0.7 = 3$
- ・  $905 - 8 = 897$
- ・  $18 \div 0.9 = 20$
- ・  $\frac{2}{9} \times 3 = \frac{2}{3}$

●数の大きさを、相対的に捉えることができるように、「□がいくつ分」と考えたり、数直線に表したりできるようにしましょう。

(問)

7.1 7 7.01 の三つの数の中で、いちばん小さい数と、いちばん大きい数を書きましょう。

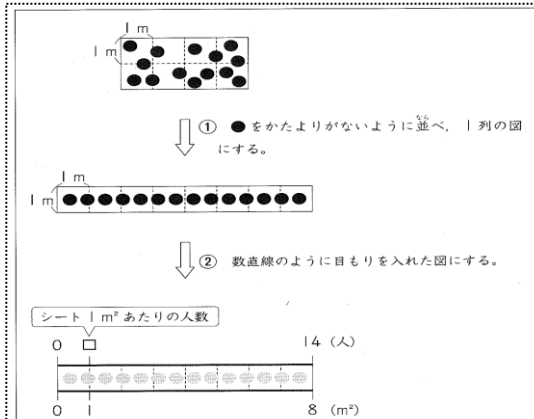
7.1は、0.01が710こ、7は、0.01が700こ、7.01は、0.01が701こ集まった数



●混み具合調べなど、単位量当たりの大きさを求めるときには、数直線やテープ図など、工夫して図に表し、式を考えるようにしましょう。

(問)

シート1㎡あたり的人数を求め式を書きましょう。



# 中学校「国語」

## よくできていた点

○基本的な漢字の読み書きに定着が見られました。

(問)

- ・歴史のケンキュウをする → 研究
- ・庭に花をウえる → 植
- ・封筒を開ける → ふうとう
- ・努力が報われた → むく

## 特に課題のみられる点

- 敬語の使い方、ことわざや慣用句の使い方や意味の理解、歴史的仮名遣いなど、語彙に関わる力を高めましょう。

(問)

- ・名に値する → 名前にふさわしい価値がある
- ・手塩に(かける)
- ・白羽の矢が(たつ)
- ・優美の意味 → うつくしい、うるわしい
- ・うさぎ追ひしかの山 → おいしい(現代仮名遣い)

- 文章を読むときには、文章の構成を意識して、中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などと読み分け、内容を理解するようにしましょう。

(問)

- ・「博物館のちらし(表)」と「博物館のちらし(裏)」から分かる「暮らしの中の伝統文化展」が開かれるねらいとして最も適切なものを、一つ選びなさい。
- ・次のAからDまでの巳之助の様子を、「物語の一部」の展開に沿って順番に並べ替えるとどうなりますか。

- 書き手の目的や意図、表現の効果を考えたり、文章や資料のなかから必要な情報を取り出したり、比較したり関連付けたりして、根拠を明確にして自分の考えを書く練習をしましょう。

(問)

- ・「博物館のちらし(表)」と「博物館のちらし(裏)」には、それぞれどのような表現の工夫がありますか。また、それらにはどのような効果があると思いますか。
- ・「図鑑の説明」を読むことで、「物語の一部」の□の中のどの部分についてよく分かるようになりましたか。よく分かるようになった部分と、その部分についてどのようなことが分かったのかを書きなさい。



1 次の「博物館のちらし(表)」「博物館のちらし(裏)」を鑑み、あとの問いに答えなさい。

「伝統文化」というと遠い存在のように感じられますが、実は今の暮らしの様々なところに息づいています。「暮らしの中の伝統文化展」の第1期は、「うるしの世界」を取り上げます。私たちの暮らしの中にある誰のよさを実感してみませんか。

**うるしの世界**  
おわんや重箱などに代表される漆製品は、優美なだけでなく、丈夫で長持ちする実用性の高さも兼ね備えており、私たちの暮らしの中で育まれてきたものです。

**展示内容(1階展示室)**

展示コーナー② 原料としての漆の性質  
展示コーナー③ 漆製品の製造工程  
展示コーナー① 暮らしの中の漆製品

**関連イベント**

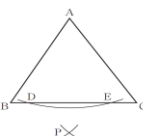
～漆製品を使ってみよう～  
漆の器とスプーンでアイスクリームを味わいます。また、使用後の手入れの仕方も体験できます。漆の器の美しさや手触りのよさなどを感じてみませんか。  
日時：開催期間中の土曜日 午後3時～午後4時  
場所：1階特別室  
定員：20名(無料・当日受付)

～職人の技を見てみよう～  
この道30年の職人による漆塗りの実演を観ることができます。交差する時期もありますので、伝統を受け継ぐ職人としての思いなどを直接聞いてみませんか。  
日時：開催期間中の日曜日 午前10時～午前11時  
場所：1階ホール  
定員：50名(無料・当日受付)

## よくできていた点

○基本的な図形の特徴や作図の方法、空間における直線と直線の位置関係（垂直・平行）などについて理解することができています。

(1) 次の図の△ABCにおいて、下のア、イ、ウの手順で直線APを作図します。



**作図の方法**

- ① 頂点Aを中心として、辺BCと2点で交わる円をかき、その円と辺BCとの交点を点D、Eとする。
- ② 点D、Eをそれぞれ中心として、互いに交わるように等しい半径の円をかき、その交点の1つを点Pとする。
- ③ 頂点Aと点Pを通る直線をひく。

この方法によって作図した直線APについて、上の△ABCにおいて成り立つことがらを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

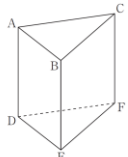
ア 直線APは、頂点Aと辺BCの中点を通る直線である。

イ 直線APは、辺BCの垂直二等分線である。

ウ 直線APは、∠BACの二等分線である。

エ 直線APは、頂点Aを通り辺BCに垂直な直線である。

(1) 下の図の三角柱には、辺ADとねじれ位置にある辺がいくつかあります。そのうちの1つを書きなさい。



○反比例の関係について理解したり、グラフ上の点の座標から、 $x$ と $y$ の関係を式に表したりすることができています。

(3)  $y$ が $x$ に反比例するものを、下のアからオまでの中から1つ選びなさい。

ア 1500mの道のりを分速 $x$ mで進んだときにかかる時間 $y$ 分

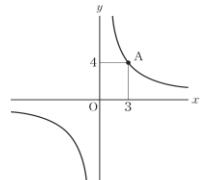
イ 1辺の長さが $x$ cmである正方形の面積 $y$ cm<sup>2</sup>

ウ 100ページの本を、 $x$ ページ読んだときの残りのページ数 $y$ ページ

エ 1冊80円のノートを $x$ 冊買ったときの代金 $y$ 円

オ  $x$ mのリボンを3人で同じ長さに分けたときの1人分の長さ $y$ m

(4) 下の図は、反比例のグラフで、点A(3, 4)を通ります。このとき、 $y$ を $x$ の式で表しなさい。



## 特に課題のみられる点

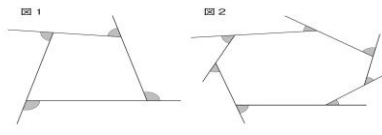
●自然数、整数などの意味や等式の変形の方法、多角形の外角の和、円柱と円錐の体積の関係など、問題を解くための基礎的な力を高めましょう。

(問)

- -5, 0, 1, 2.5, 4 の数の中から自然数をすべて選びなさい。
- 底辺の長さ $a$ cm、高さ $h$ cmの平行四辺形の面積 $S$ cm<sup>2</sup>は、 $S=ah$ で表されます。この式を、 $h$ について解きなさい。
- 図1は円柱で、図2は円錐です。それぞれの底面の円は合同で、高さは等しいことがわかっています。円柱の体積が600cm<sup>3</sup>のとき、図2の円錐の体積を求めなさい。

(2) 次の図1、図2は、多角形の各頂点において一方の辺を延長したものです。

この2つの図で、それぞれ印を付けた角(∠)の和を比べるとき、どのようなことがいえますか。下のアからエまでの中から正しいものを1つ選びなさい。



ア 図1で印を付けた角の和と図2で印を付けた角の和は等しい。

イ 図1で印を付けた角の和の方が大きい。

ウ 図2で印を付けた角の和の方が大きい。

エ 図1で印を付けた角の和と図2で印を付けた角の和のどちらが大きいかは、問題の条件からだけではわからない。

●数学的な結果を解釈することを通して、その事柄が成り立つ理由を、数や数式を根拠として、説明できるようにしましょう。

(3) 海斗さんは、先生チームとの試合ではなく、各学級が応援を披露して競う「応援合戦」を入れることを提案している。海斗さんの提案を2回、同じ長さで行うことを考え、新たな5. あるボウリング場では、貸し出し用の靴をすべて新しいものに買い替えようとしています。そのために、貸し出し用の靴の総数や、過去1か月間に靴が貸し出された回数について調べました。

**進行表**

項目	10分	60分
借入	1組2組	1組2組
借出	1組1組	2組3組
借入	1組	1組
借出	1組	1組

進行表から、1試合の時間を $a$ 分、1回の応援合戦を $c$ 分とすると、 $3a+4b+2c=60$ といふことをもとに、二人は話し合っています。

海斗さん「1回の応援合戦を5分、1回の応援合戦をこのとき、1試合10分はとれるかな。海斗さん「 $3a+4b+2c=60$ という式を利用しないかな。」

海斗さん「 $b=5$ 、 $c=6$ になるから、 $a$ がわか

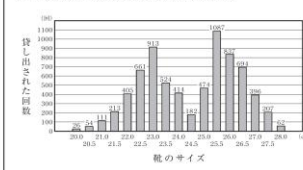
1回の応援合戦を5分、1回の応援合戦を6分とする時間を10分とすることはできますか。下のア、イの1つを選び、それが正しいことと理由を、 $3a+4b+2c=60$ をもとに説明しなさい。

ア 1試合の時間を10分とすることはできる。

イ 1試合の時間を10分とすることはできない。

**調べたこと**

- 貸し出し用の靴の総数 200足
- 貸し出された回数の合計 7260回
- 貸し出された靴のサイズの平均値 24.5cm
- 靴のサイズごとの貸し出された回数のグラフ



上のグラフから、例えば、23.5cmの靴は524回貸し出されたことがわかります。

調べたことととも、どのサイズの靴を何足買うかを考えます。

(1) 「貸し出された靴のサイズの平均値である24.5cmの靴を最も多く買う」という考えは適切ではありません。その理由を、調べたことのグラフの特徴をもとに説明しなさい。

## 小学校

小学校では、課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考えることに課題がありました。様々な情報と常に接している子どもたちにとって、関心をもつことで生じた疑問や課題について、必要な情報を自ら収集して解決する能力や態度を養うことが大切です。また、その課題解決に向け、学校図書館等を積極的に活用するよう心がけたいものです。

## 中学校

中学校では、辞書を活用し、漢字が表している意味を正しくとらえることに課題がありました。説明的な文章の構成を捉えたり、目的に応じて文章を要約したりすることにも課題がありました。項目や見出し、図表や写真等を手掛かりに、全体的な構成を捉え、文章の内容を理解することが大切です。また、内容のまとまりを捉えるとともに中心的な部分と付加的な部分とを読み分け、内容を正確に理解したうえで、文章を要約することが求められます。

## 総括

小学校・中学校とも漢字を正しく読んだり書いたりすることには大きな課題がありました。漢字や語句は、一度学習しただけでは定着しません。国語の基礎的な指導内容として言語事項を確実に身に付けさせるためには、繰り返して学習できる場を計画的に仕組んだり、学習したことを生活の場で活用したりする場面を設定することが大切です。

また、「書くこと」に苦手意識をもつ子どもが多くいます。記述式の問題の無回答率は、選択式の問題の無回答率よりも高くなっています。国語科に限らず、すべての教科の学習において、書いたものを、この書き方でよいのか、内容は適切か確かめる経験を積み重ねることが大切です。短い文章であっても、書いたものを丁寧に確認したり、友だちに伝えたりする活動を積み重ねることが、自分の考えを確かなものにし、根拠を明らかにしたり、条件に合わせたりしながら、書きたいことを明確に書く力の育成につながると考えられます。

加えて、文学的な文章の学習では、読書のよさや楽しさを実感できるような指導や雰囲気づくりを心がける一方で、登場人物の行動や会話など、複数の叙述を基にしながら、人物像を捉えることができるよう指導することが大切です。シリーズとして刊行されている作品には、登場人物や状況設定など、共通した特徴をもつものが多く、シリーズの作品を重ねて読んでいくことで、そうした特徴に気付くことができると考えられます。

## 「ひこねっこ」の学習の課題 算数・数学

### 小学校

小学校では、小数の除法「(整数) ÷ (小数)」、整数、小数、分数の四則計算、数の大小関係に課題がありました。基礎的・基本的な理解や技能の習得が不十分であると思われます。数の領域においては、これまでの調査においても課題がありました。まずは、第1学年から第2学年までに加法、減法、乗法の意味と習得、第3学年までに整数の除法の意味と習得、第4学年までに小数の意味と表し方についてしっかりと身に付けておく必要があります。そのうえで、小数の加法、減法の計算で、小数点の位置をそろえて位ごとに計算できるようにしておく必要があります。さらに、小数の仕組みの理解の上に立って小数の乗法および除法の意味について理解し、それらを適切に用いる指導につなげることが求められます。また、数の大小関係については、小数が整数と同じ仕組みで表されていることを生かして、小数も整数の場合と同じ考え方で数の大小関係の比較ができることを理解する必要があります。数の大きさを捉えることができるようにするために、数の大小関係を同じ数直線上に表すことも有効です。

### 中学校

中学校では、多角形の内角や外角の和の性質の理解に課題がありました。図形の学習は、小学校で二等辺三角形や平行四辺形の角や辺の性質を、中学校1年生では図形の対称性や作図について学び、図形に対する概念がさらに広がります。しかし、基本的な図形概念や性質の理解が不十分であることにより、与えられた問題の意図や図形の認識が困難になります。小学校の下学年から基本的な図形概念や性質について丁寧な指導を積み重ねるとともに、数学的に説明し伝え合う活動を多く取り入れることが必要です。また、与えられた情報や資料から必要な情報や資料の傾向を適切に判断したり、その事柄が成り立つ理由や判断の根拠を数や数式などの数学的表現を使って説明することにも課題がありました。日頃から数式を根拠として事柄が成り立つ理由を説明する学習を取り入れることにより、日常的な事象を数学的な解釈に基づいて考察し、事柄が成り立つ理由を説明できるようにすることが大切です。中学校の数学科の学習では、説明し伝え合う活動により多様な考え方への視点を得たり、自分の考えを表現したりすることで、知識や技能、表現などのよさを実感する機会を大切にすることが求められます。

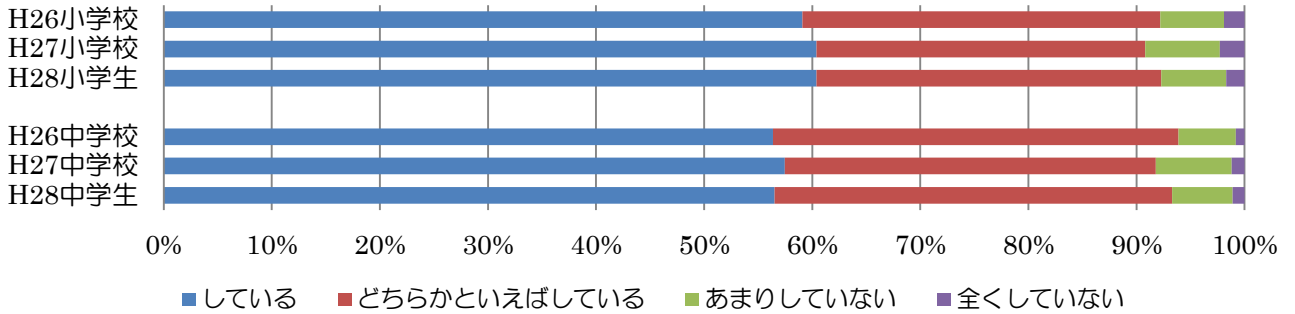
### 総括

本調査の児童(生徒)質問紙で、「算数(数学)の勉強は大切だと思いますか」と問いに、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は全国平均を上回っていますが、「算数(数学)の勉強は好きですか」という問いに「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は全国平均とほぼ同等です。「算数(数学)の勉強は大切だ」という思いが「算数の勉強が好きだ」という意識につながるよう、授業に取り組むことが大切です。問題場面をイメージできない場合や、問題場面をよりの確に把握するためには、問題場面を絵や図、表、式、数直線で整理し直す活動が有効です。今後、様々な場面で物事を数理的に捉え自分の考えを相手に分かりやすく伝えるための手だてとして、図や式、表、グラフ、数直線を総合的に使えるようにしていくことが求められます。

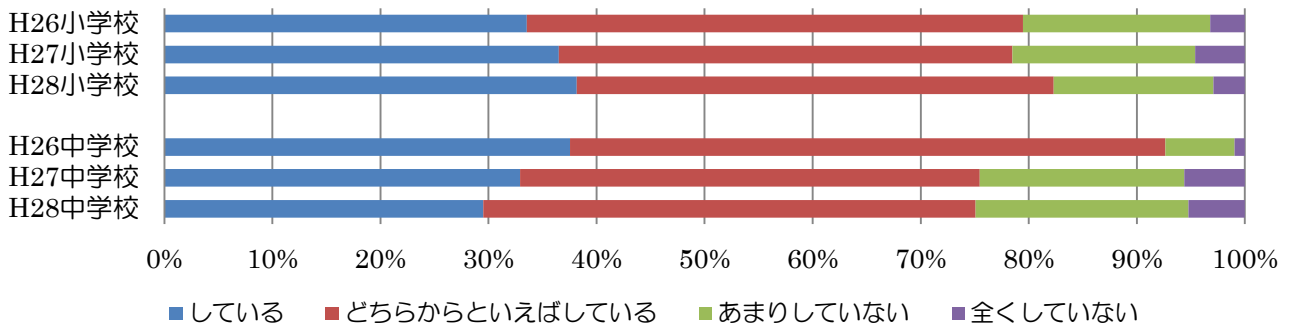
# 「ひこねっこ」の学習・生活の調査結果

## 生活習慣について

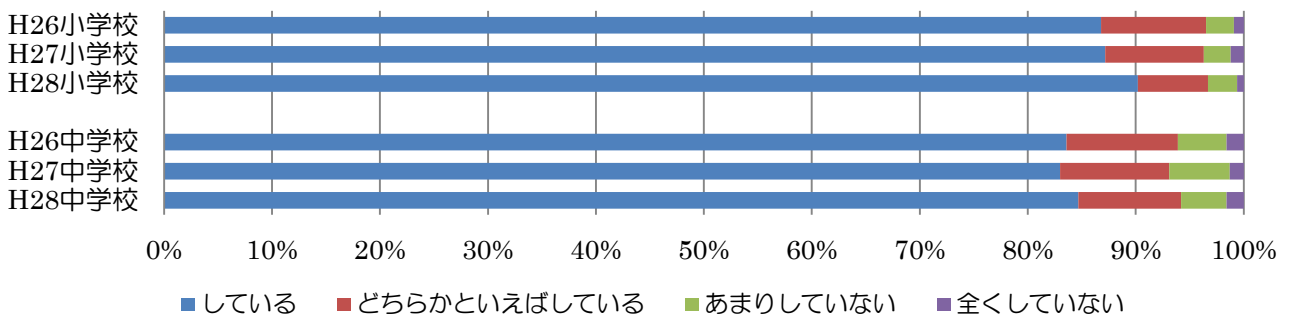
### 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



### 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



### 朝食を毎日食べていますか



子どもたちの日々の学習を支えるものは、基本的な生活習慣（規則正しい生活）です。上のグラフからも、彦根市の子どもたちは、しっかり朝食を食べて、活動するエネルギーを充電して学校に登校していることがわかります。

しかしながら、寝る時刻につきまちは、少しばらつきがあるようです。成長期の子どもたちにとって、規則正しい生活リズムは、心と体に大きな影響をもたらします。

彦根市では、「ひこねっこ学びの6か条」において生活習慣の確立（早ね・早おき・朝ごはん）を呼びかけています。今後も、子どもたちの学習を支える生活習慣の確立にご家庭のご協力をお願いします。

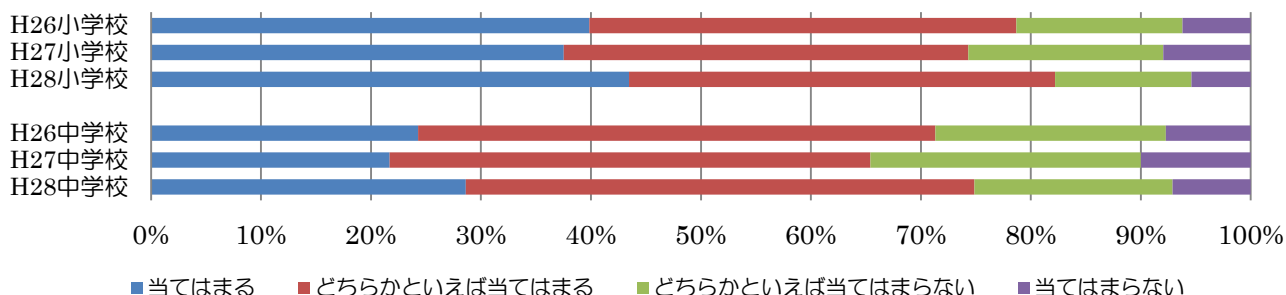
彦根教育 学びの提言

### ひこねっこ 学びの6か条

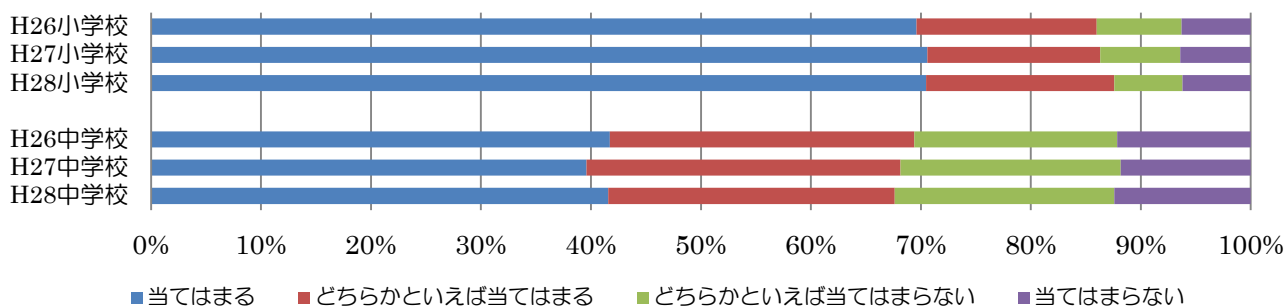
- い** いっぱい本を読もう  
本は心の栄養・知識の宝庫
- い** いい汗かいて役立とう  
家族のために、地域のために
- な** なぜだろう、やってみよう  
好奇心は学ぶ意欲のみなもと
- お** おはよう、ありがとう  
あいさつで人と人のつながりを
- す** スポーツや外遊びをしよう  
元気を体づくり、心づくり
- け** けじめある生活をしよう  
早ね 早おき 朝ごはん



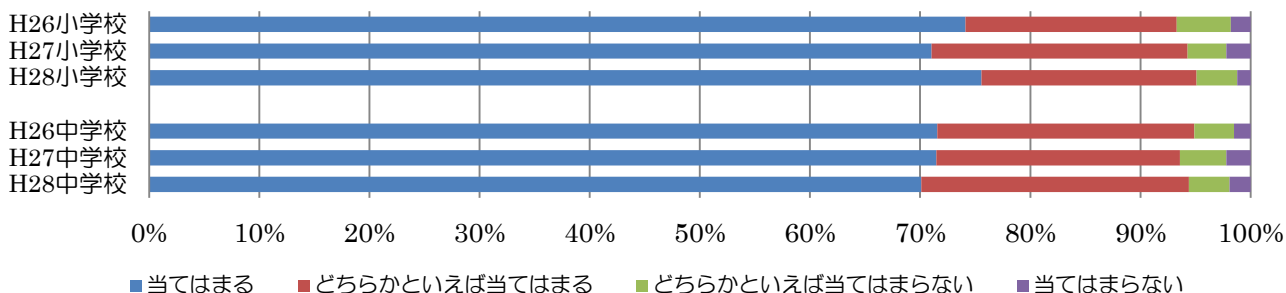
### 自分にはよいところがあると思いますか



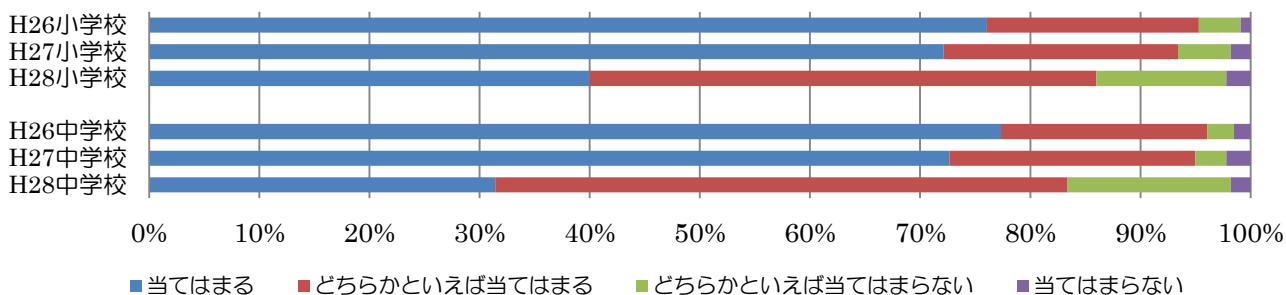
### 将来の夢や目標を持っていますか



### 人の役に立つ人間になりたいと思いますか



### 人が困っているときには、進んで助けていますか (H26・27は「人の気持ちが分かる人間になりたいですか」)

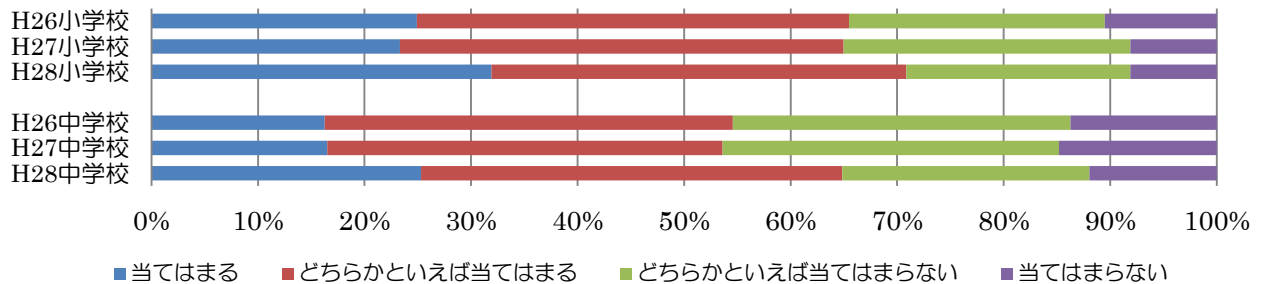


子どもたちが、学ぶことや生きることのよさを感じ、自分自身を向上させる意欲をもつためには、まずは自分自身のよさを感じたり気づいたりすることが大切です。上のグラフでは、「自分にはよいところがある」という問いに対して、他の項目に比べて肯定的に捉えている子どもが少ないようです。

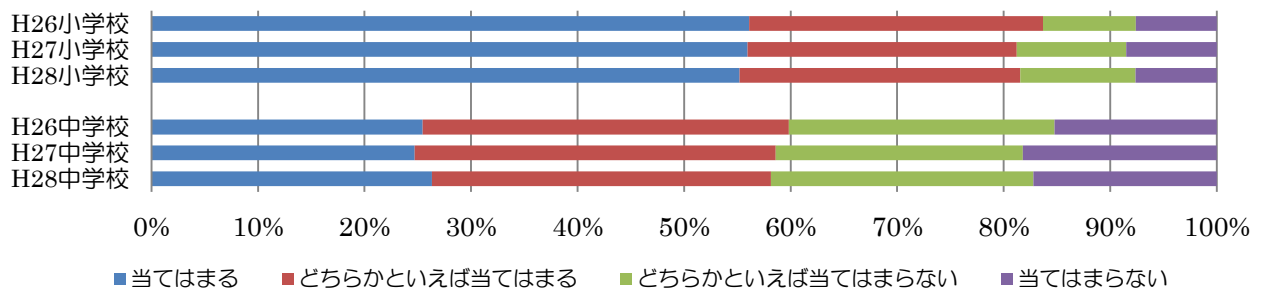
自分のよさに気づき、さらに将来に対する夢や希望を高めていくためには、まず他者からすばらしいところを褒めてもらって自信をつけたり、自分の気持ちを他者に理解してもらうよさを味わったりするという経験が必要です。そのために、学校でも家庭・地域でも子どもたちのよさを認め励まし支えることを大切にしましょう。



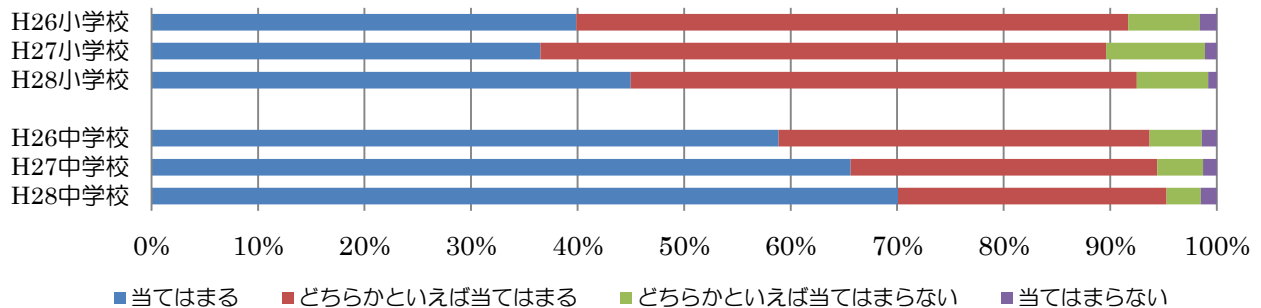
### 地域や社会で起こっている出来事に関心がありますか



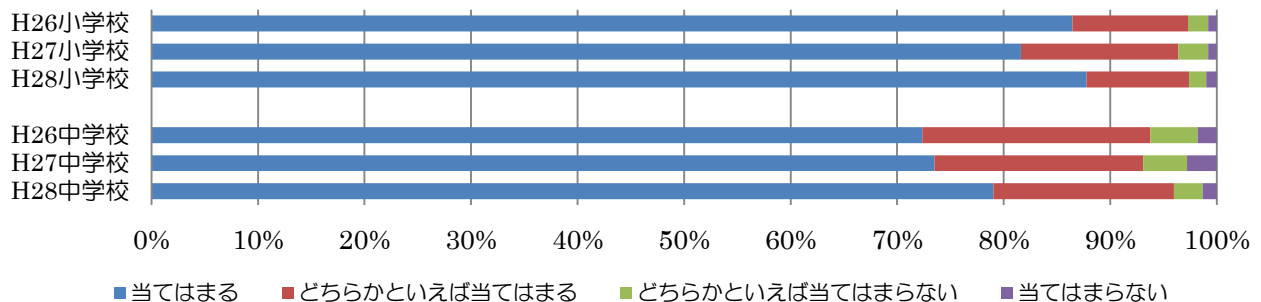
### 今住んでいる地域の行事に参加していますか



### 学校のきまりを守っていますか



### いじめはどんなことがあってもいけないことだと思いますか

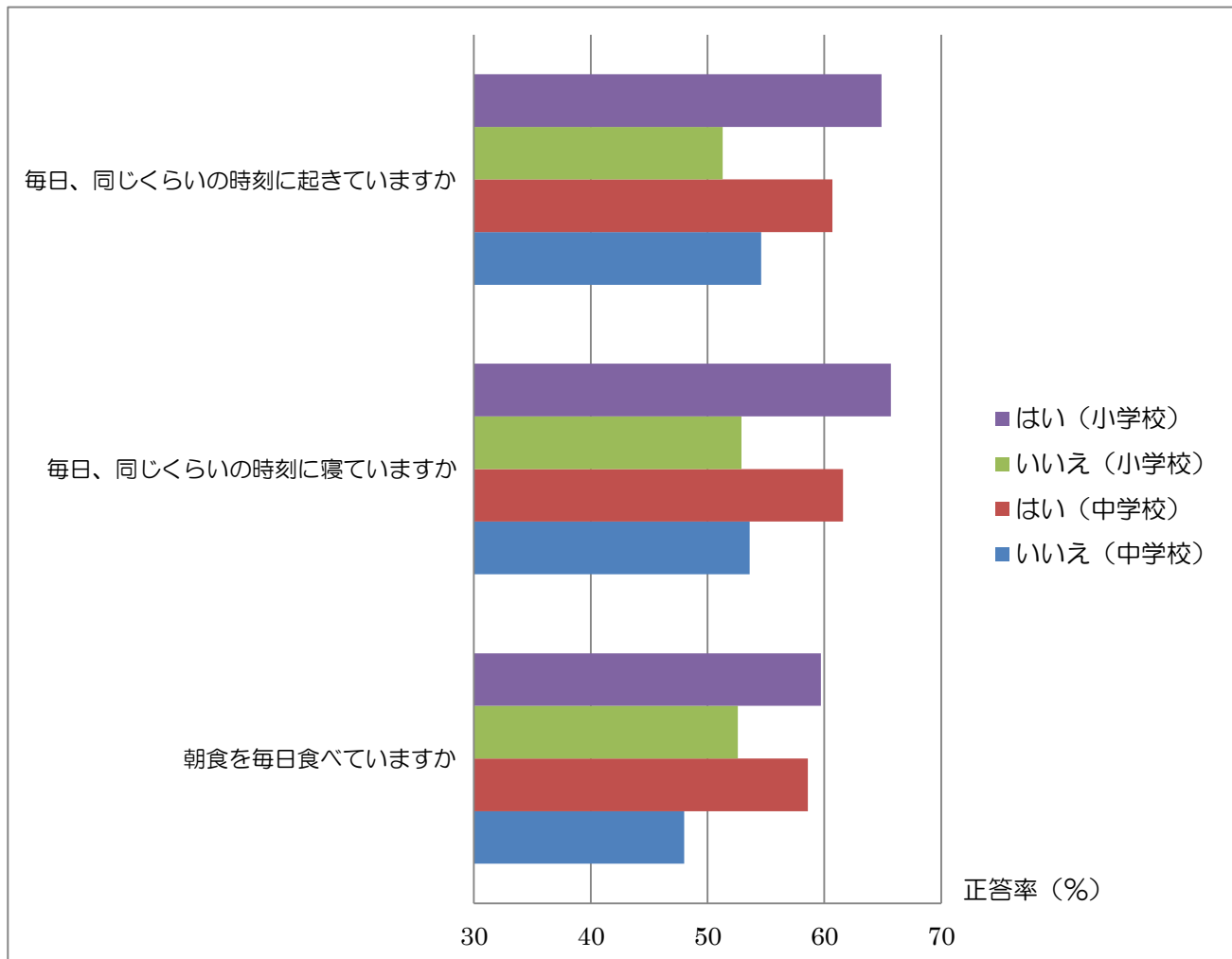


彦根市の子どもたちは、上のグラフからも、今住んでいる地域の行事に進んで参加しようとしていることや、いじめに対しても、どんなことがあってもいけないと考えている姿がうかがえます。

今後も、子どもたちの心身ともに健やかな成長を図るために、学校、家庭、地域の連携の充実を図ってまいります。

## 学力調査と質問紙調査とのクロス集計から

### 生活習慣との関わりについて

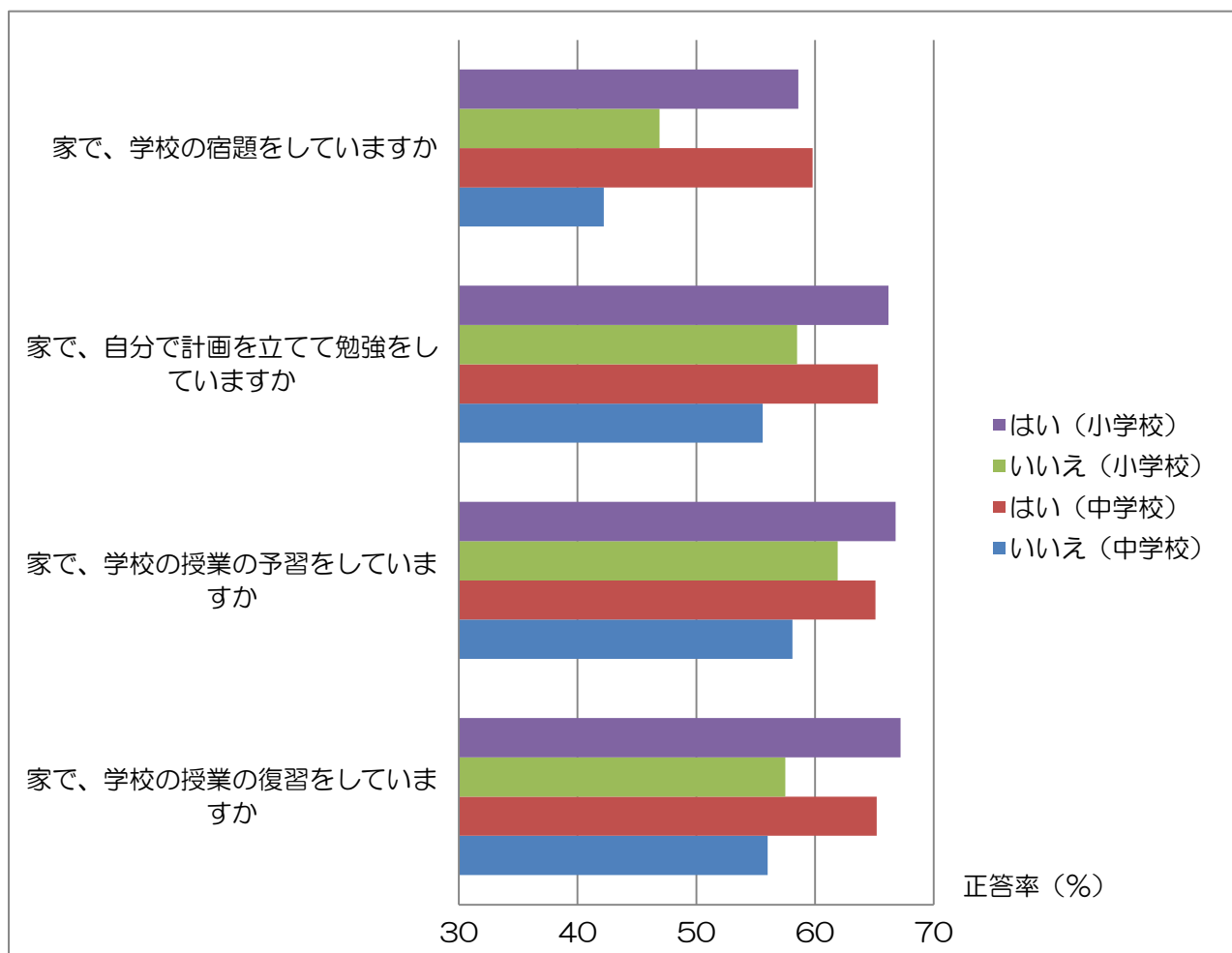


- ◇「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」という問いに肯定的に答えた子どもは、否定的に答えた子どもに比べて、正答率が小学校では13ポイント程度、中学校では7ポイント程度高くなりました。
- ◇「朝食を毎日食べていますか」という問いに肯定的に答えた子どもは、否定的に答えた子どもに比べて、正答率が小学校では7ポイント程度、中学校では10ポイント程度高くなりました。

「毎日、同じくらいの時刻に起きている・寝ている」と回答した子どもたちは、小学校、中学校ともに正答率が高くなっています。このことから、規則正しい生活習慣と学力との関係は、明らかです。

子どもたちに学ぶ力を育むために、学校・家庭がともに協力して、子どもたちが幼い頃から、規則正しい生活習慣を身につけられるようにする環境づくりも大切になります。「早ね・早起き・朝ご飯」はもちろん、「学習の場を決める」「テレビの時間を決める」「持ち物の整理整頓をさせる」など、子どもたち自身が、自分の生活を作り上げる力の育成に努めていきたいものです。

## 家庭学習との関わりについて

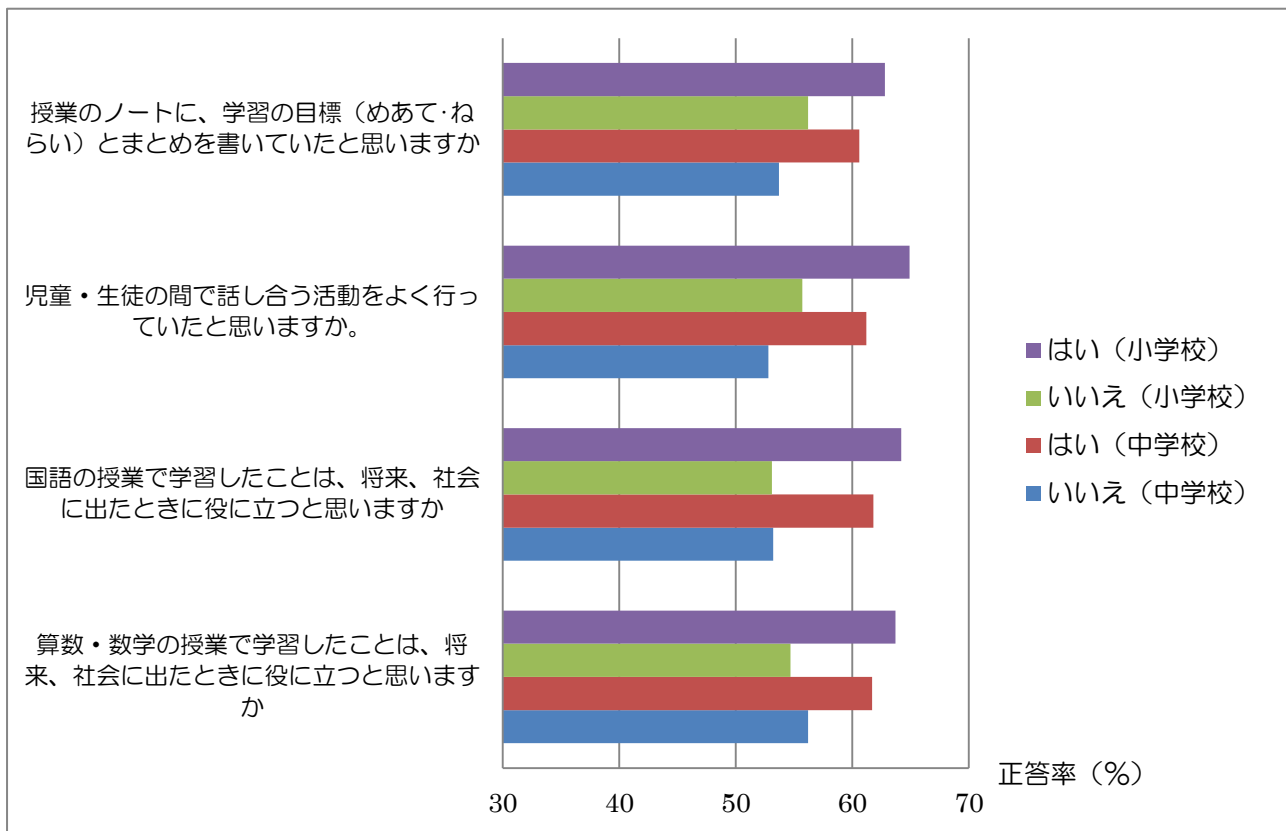


- ◇「家で、学校の宿題をしていますか」という問いに肯定的に答えた子どもは、否定的に答えた子どもに比べて、正答率が小学校では12ポイント程度、中学校では17ポイント以上高くなりました。
- ◇「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」という問いに肯定的に答えた子どもは、否定的に答えた子どもに比べて、正答率が小学校で8ポイント程度、中学校で10ポイント程度高くなりました。
- ◇「家で、学校の授業の予習をしていますか」「家で、学校の授業の復習をしていますか」という問いでは、どちらも肯定的に答えた子どもの正答率が高く、とくに「復習をしていますか」の問いでは、小学校、中学校ともに、10ポイント程度高くなりました。

「家で、学校の宿題をしていますか」「家で、学校の授業の復習をしていますか」のグラフを見ても分かるように、子どもたちの学力定着と家庭学習の関係は明らかです。

学校から出される宿題には、その日に習ったことがらを繰り返し学習させて着実に身につけさせる、次の学習に向けて準備させるなどの意図があります。また、低学年から取り組むことで、家庭での学習習慣を定着させることもねらいであります。学校からは、「家庭学習の手引き」などを配布させていただいておりますが、保護者の皆様にも家庭学習の重要性をご理解いただき、学校、家庭ともに取組を充実させていきたいと思っております。

## 授業との関わりについて

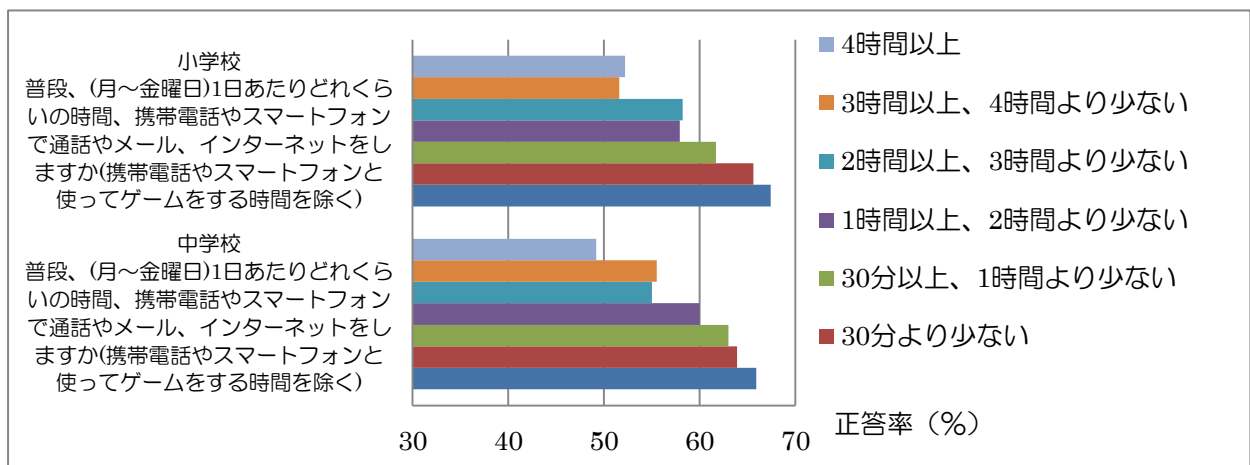
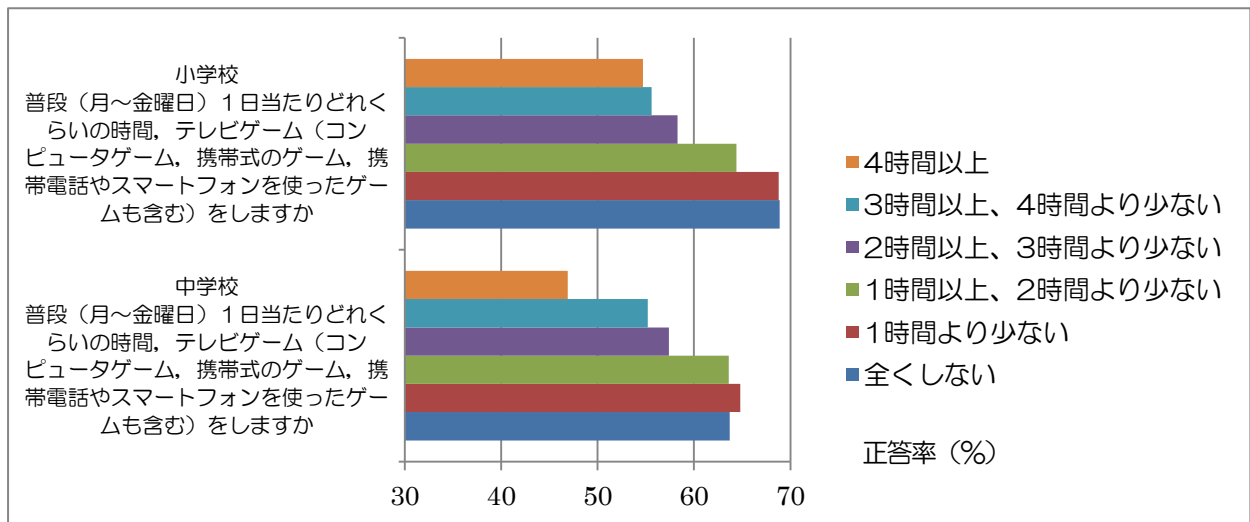


- ◇「授業のノートに、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか」という問いに肯定的に答えた子どもは、否定的に答えた子どもに比べて、正答率が小学校、中学校ともに、7ポイント程度高くなりました。
- ◇「児童・生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか」という問いに肯定的に答えた子どもは、否定的に答えた子どもに比べ、正答率が小学校では10ポイント程度、中学校でも8ポイント程度高くなりました。
- ◇「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか」という問いに肯定的に答えた子どもは、否定的に答えた子どもに比べて、正答率が小学校では11ポイント、中学校では9ポイント程度高くなりました。
- ◇「算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか」という問いに肯定的に答えた子どもは、否定的に答えた子どもに比べて、正答率が小学校では9ポイント以上、中学校では5ポイント程度高くなりました。

「今日は何を学ぶのか」「今日は何ができるようになったのか、何が分かったのか」毎日の学習のなかで、学習の始めにその時間の目標（めあて・ねらい）を子どもたちに示し、学習後にはその時間に学習したことを振り返る活動を取り入れています。上のグラフからも、その時間に何を学ぶのか、そして学習後には何を学んだのかを意識してノートに書いていた子どもほど、正答率が高い傾向が見られました。学習することの意味や目的を、これからも子どもたちに伝えていきたいと思えます。

また、自分の考えを広げたり深めたりして、確かなものにするためには話し合っ、他者の考え方に触れることがとても大切です。これらのことについては、今後も学校で積極的に取り組みます。

## 学習とゲーム、携帯電話・スマートフォン等との関わりについて



- ◇「普段、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか」という問いに対して、小学校で「4時間以上」と答えた児童は、「1時間より少ない、全くしない」と答えた子どもより、小学校で14ポイント、中学校で17ポイント程度正答率が低くなりました。
- ◇「普段、1日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか」という問いに対して、小学校で「4時間以上」と答えた児童は、「30分より少ない」「携帯電話やスマートフォンを持っていない」と答えた児童と比べて、14ポイント以上正答率が低くなりました。同様の問いに対して、中学校で「4時間以上」と答えた生徒は、「30分より少ない」「携帯電話やスマートフォンを持っていない」と答えた生徒と比べて、15ポイント程度正答率が低くなりました。

昨年度と同様、本年度も小学校、中学校とも、ゲームをする時間や、携帯電話や、スマートフォンを使って通話、メール、インターネットをする時間と学力との間に関係がみられました。

彦根市の子どもたちは、普段（月曜日～金曜日）に「2時間以上ゲームをしている」と回答したのが、小学生の28%、中学生の35%でした。また「2時間以上携帯電話やメール、インターネットをしている」と回答したのが、小学生の10%、中学生の29%でした。

携帯電話、スマートフォン等を使ってコミュニケーションしたり、インターネットにアクセスしたりすることは、子どもたちの日常生活の一部になりつつありますが、それぞれの家庭でゲームや携帯電話、スマートフォンの使い方のルールを話し合っ決めて決めるなど、適切な使い方を考えることが大切です。

## 県「学ぶ力向上滋賀プラン」の6つの視点から

平成26年度から滋賀県では、「学ぶ力向上滋賀プラン」を策定しています。以下はそのプランにおける6つの視点から見た彦根市の現状です。

### \*質問項目点数の算出方法について

- 全国学力学習状況調査での児童生徒質問紙調査の質問項目について「当てはまる」4点、「どちらかといえば当てはまる」3点、「どちらかといえば当てはまらない」2点、「当てはまらない」1点とし、各回答の割合とこれらの点数をかけて合計したもので算出しています。(各項目最高400点、最低100点)
- 「読書…」は30分以上、10～30分、10分未満、全くしないの順に、4点3点2点1点としました。
- 「400字詰め原稿用紙…」はそう思わないから順に4点3点…としました。
- 「インターネットに…」は、持っていない、30分より少ない、1時間より少ない、1時間以上の順に4点3点…としました。

### 視点1 一人ひとりの学ぶ力を高める

#### ○小学校

指標となる学習状況の児童への質問項目	全国	滋賀県	彦根市	全国との差
難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか	298.0	298.2	306.4	+8.4
友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	258.0	258.7	264.0	+6.0
将来の夢や目標を持っていますか	347.3	344.8	351.5	+4.2
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	362.9	363.1	369.1	+6.2
合 計	1266.2	1264.8	1291.0	+24.8

#### ○中学校

指標となる学習状況の生徒への質問項目	全国	滋賀県	彦根市	全国との差
難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか	284.3	278.6	284.6	+0.3
友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	252.6	256.1	262.8	+10.2
将来の夢や目標を持っていますか	304.8	295.0	296.2	-8.6
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	359.6	356.2	361.5	+1.9
合 計	1201.3	1185.9	1205.1	+3.8

## 視点2 繰り返し努力したことを認め能力や可能性を引き出す

○小学校 ※「400字詰め原稿用紙…」は難しいと思っていない児童が高得点となっています。

指標となる学習状況の児童への質問項目	全 国	滋賀県	彦根市	全国との差
物事を最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	365.2	366.7	368.8	+3.6
自分には、よいところがあると思いますか	304.9	308.5	320.6	+15.7
400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	221.6	208.0	208.0	-13.6
算数の問題の解き方がわからないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	320.9	316.6	330.7	+9.8
合 計	1212.6	1199.8	1228.1	+15.5

○中学校 ※「400字詰め原稿用紙…」は難しいと思っていない生徒が高得点となっています。

指標となる学習状況の生徒への質問項目	全 国	滋賀県	彦根市	全国との差
物事を最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	365.5	361.5	366.4	+0.9
自分には、よいところがあると思いますか	287.2	282.4	296.1	+8.9
400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	216.2	205.5	208.5	-7.7
数学の問題の解き方がわからないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	299.3	293.6	295.8	-3.5
合 計	1168.2	1143.0	1166.8	-1.4

## 視点3 生活の中で学び力を付ける

○小学校

指標となる学習状況の児童への質問項目	全 国	滋賀県	彦根市	全国との差
学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか	279.4	272.5	281.6	+2.2
家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか	326.7	327.3	329.8	+3.1
学級みんなで協力して、何かをやり遂げうれしかったことがありますか	341.0	340.4	355.3	+14.3
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	287.1	286.1	298.3	+11.2
合 計	1234.2	1226.3	1265.0	+30.8



## ○中学校

指標となる学習状況の生徒への質問項目	全 国	滋賀県	彦根市	全国との差
学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか	240.7	226.3	236.5	-4.2
家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか	312.0	311.7	320.5	+8.5
学級みんなで協力して、何かをやり遂げうれしかったことがありますか	336.6	325.1	349.6	+13.0
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか	276.2	269.4	281.9	+5.7
合 計	1165.5	1132.5	1188.5	+23.0

## 視点4 授業を改善する

## ○小学校

指標となる学習状況の児童への質問項目	全 国	滋賀県	彦根市	全国との差
授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	334.5	331.8	336.6	+2.1
授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	310.3	311.6	320.2	+9.9
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	343.9	344.1	351.3	+7.4
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	354.2	355.2	359.6	+5.4
合 計	1342.9	1342.7	1367.7	+24.8

## ○中学校

指標となる学習状況の生徒への質問項目	全 国	滋賀県	彦根市	全国との差
授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	323.9	319.5	334.8	+10.9
授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	278.0	260.7	274.8	-3.2
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	326.7	320.9	323.6	-3.1
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	298.6	291.7	298.0	-0.6
合 計	1227.2	1192.8	1231.2	+4.0

## 視点5 放課後や家での時間の使い方を考える

### ○小学校

指標となる学習状況の児童への質問項目	全 国	滋賀県	彦根市	全国との差
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	346.3	346.0	351.0	+4.7
普段、一日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか	290.0	291.8	293.6	+3.6
家で、自分で計画を立てて勉強していますか	279.9	278.7	289.1	+9.2
家で、学校の授業の予習をしていますか	240.8	237.2	249.8	+9.0
合 計	1157.0	1153.7	1183.5	+26.5

### ○中学校

指標となる学習状況の生徒への質問項目	全 国	滋賀県	彦根市	全国との差
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	346.6	342.8	348.0	+1.4
普段、一日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか	206.7	202.5	218.5	+11.8
家で、自分で計画を立てて勉強していますか	249.4	245.8	251.1	+1.7
家で、学校の授業の予習をしていますか	217.2	215.9	219.2	+2.0
合 計	1019.9	1007.0	1036.8	+16.9

## 視点6 県全体で子どもの力を伸ばす

### ○小学校

指標となる学習状況の児童への質問項目	全 国	滋賀県	彦根市	全国との差
今住んでいる地域の行事に参加していますか	292.8	321.9	328.5	+35.7
地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか	294.6	292.4	294.4	-0.2
地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	294.5	284.6	289.0	-5.5
人が困っているときは、進んで助けていますか	319.1	316.2	323.8	+4.7
合 計	1201.0	1215.1	1235.7	+34.7

○中学校

指標となる学習状況の生徒への質問項目	全 国	滋賀県	彦根市	全国との差
今住んでいる地域の行事に参加していますか	236.3	258.0	267.0	+30.7
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	280.9	276.1	277.1	-3.8
地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	318.5	314.6	348.2	+29.7
人が困っているときは、進んで助けていますか	315.1	306.2	312.7	-2.4
合 計	1150.8	1154.9	1205.0	+54.2

小学校では、6つの視点全てにおいて全国値を上回ることができました。特に、「生活の中で学ぶ力を付ける」「放課後や家での時間の使い方を考える」視点では、全国値を大きく上回りました。中学校では、5つの視点で全国値を上回ることができました。特に「生活の中で学ぶ力を付ける」「県全体で子どもの力を伸ばす」視点で、全国値を大きく上回りました。小学校・中学校ともに、児童生徒が、学級の友だちとともに協働的に何かをやり遂げたり、話し合ったりする活動に充実感をいただいていることがうかがえます。

しかし、小・中学校とも「繰り返し努力したことを認め、能力や可能性を引き出すこと」の視点で、全国値を大きく下回る項目がありました。

本年度も実施している彦根マイ☆（スター）は、繰り返し努力することの価値を子どもたちに伝えるため、根気強い取組等を賞賛する取組です。学校では、本取組への参加を促すとともに、一人ひとりの努力を認め合う学校風土作りに努めます。

家庭や地域でも、子どもたちの努力を支え、認め励ます取組をお願いします。